

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年8月13日

【2018年8月4日～2018年8月10日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。トルコによる米国人牧師拘束問題をめぐりトルコと米国の関係が悪化したことを受けて、トルコ・リラが大幅に下落すると、他の新興国通貨にも売りが波及しました。

経済指標については、IPCAインフレ率や小売売上高の発表がありました。インフレ率に関しては市場予想以上に物価上昇が加速したほか、小売売上高は市場予想を下回りました。また、COPOM(金融政策委員会)の議事録では特に目新しい材料はなく、柔軟性をもって金融政策を行う姿勢が強調されました。

大統領選挙に関しては、出馬登録の期限が近づいており注目も日々高まっています。サンパウロで実施された最新の世論調査においてアルキミン氏の支持がボウソナロ氏に届かなかったことや、過去のサンパウロでの汚職事件をめぐり元サンパウロ州知事であるアルキミン氏の関与が懸念されたことなど、この週はアルキミン氏の支持拡大がやや懸念される報道がありました。

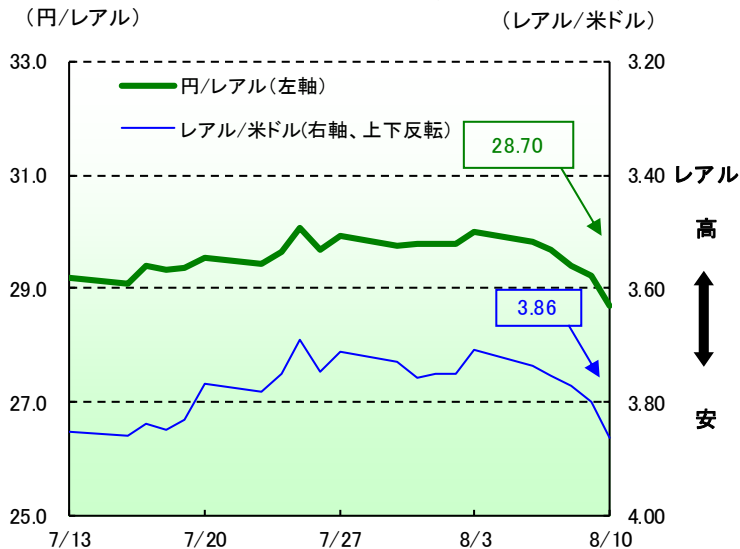
### 【2】今週の見通し

今週は、6月の経済活動指数などの経済指標が発表される予定です。ストライキの影響を受けて5月は大きく下落したため、その反動で上昇が見込まれます。

大統領選挙に関しては、15日(現地)が候補者の登録期限となっています。各大統領候補者が副大統領候補者を選出するなど準備が進められる中で、依然不透明な点はルラ氏の動向です。PT(労働者党)はルラ氏の擁立を決めているものの、認められなかった場合には元サンパウロ市長であるフェルナンド・アダッジ氏を代役に立てるとしています。その場合、アダッジ氏がルラ氏の代理人であることを強調することで、ルラ氏の支持票がアダッジ氏に流れることが懸念されます。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

(2018年7月13日～2018年8月10日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年7月13日～2018年8月10日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>